禁転載複製

2022年度　ビルクリーニング技能検定

# 随時2級　学科試験問題

| 受検番号 | |
|---|---|
| 名前 | |

1．試験時間　60分

2．問題数　50題　A群（真偽法25題）及びB群（多肢択一法25題）

3．注意事項

(1)携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は切って、バック等にしまって下さい)。

(2)机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。

(3)電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。

(4)試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。

(5)試験官の指示に従って試験問題の数を確認して下さい。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。

(6)解答用紙に記入する場合は、必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。

(7)解答用紙には、受検番号と氏名を必ず記入して下さい。

(8)試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。

(9)問題は、A群（真偽法25題）及びB群（多肢択一法25題）の50題です。

①真偽法は、問題文の内容が正しいか誤っているかを判断し、正しいと思う場合は○（丸印）を、誤りと思う場合は×（ばつ印）を解答用紙に記入して下さい。

②多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢（イ、ロ、ハ、ニ）を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。

③解答する場合は、A群、B群の解答欄を間違わないように記入して下さい。

(10)試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。

(11)試験開始後30分間は退出できません。30分経過後に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。退室後は試験が終了するまで再入室はできません。

(12)試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。

(13)試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。

(14)試験終了後、試験問題と解答用紙を提出して下さい。試験問題を持ち帰ることはできません。

■Ａ群（真偽法）

1. ごみは、直接衛生上の害はない。

2. 建築物内の空気環境が正常に保たれるように基準が定められている。

3. 建築物内に多くいるのは、クロゴキブリである。

4. ウイルスは、机上やドアノブでは増えることはない。

5. エレベータは、避難設備である。

6. リノリウムの長所は弾力性があり、歩行感に優れ、耐久性が良いことである。

7. コンクリートは、セメントと砂を 1対2～3 の割合で水練りしたものである。

8. カーペット床材は、豊かな感触性・保温性・吸音性などの長所がある。

9. 界面活性剤は、水になじむ性質と油脂になじむ性質を兼ね備えた物質である。

10. ポリマータイプの床維持剤は使いやすいが、被膜が柔らかく耐久力が弱い。

11. ポリッシャー用のパッドはナイロンなどの不織布に鉱物性の研磨剤を付着させたものである。

12. 高速バフマシンは 100～250回転（分）の高速回転を有する。

13. 自在ぼうきは隅々を掃くことができるので、ビルの床拭き用として広く使われている。

14. ワンタッチモップは柄と房糸の着脱が容易にできる構造になっている。

15. フラット型モップ（湿式）は床維持剤が壁面につきやすい。

16. ほうきの掃き方で「押さえ掃き」は、ほうきの穂先を押さえ気味にして掃く方法である。

17. 一般的に床面は汚れやすい場所と汚れない場所があり、汚れの種類も異なる。

18. 繊維床のシミの種類を大別すると、水溶性と油溶性、そして特殊なものに分類される。

19. 作業計画の作成に必要な事項の一つに、作業場所の特徴がある。

20. 一般に標準作業時間は、主体作業時間と除外時間により構成される。

21. 事業登録の有効期限は、6年間である。

22. 一般家庭の日常生活で生じた廃棄物の一部は、産業廃棄物である。

23. 事業活動に伴って排出される廃棄物は、地方自治体が責任をもって処理しなければならない。

24. 高所のロープ作業では、ライフラインの設置が法で義務付けられた。

25. 廃棄物処理業者であれば、廃液の運搬と処分を委託しても良い。

## ■Ｂ群（多肢択一法）

1. 建築物環境衛生空気管理基準の項目で、最も不適切なものはどれか。
   イ　浮遊粉じんの量
   ロ　二酸化炭素の含有率
   ハ　温　度
   ニ　照　明

2. 害虫の記述で、最も不適切なものはどれか。
   イ　ゴキブリ
   ロ　ウイルス
   ハ　カ
   ニ　チョウバエ

3. 事務室の清掃場所の特徴で、最も不適切なものはどれか。
   イ　作業は２人以上で行う
   ロ　作業用具を置き忘れないようにする
   ハ　私物を動かした時は元に戻しておく
   ニ　什器備品を損傷しないようにする

4. 給排水関係設備で、最も不適切なものはどれか。
   イ　給水設備
   ロ　熱源設備
   ハ　給湯設備
   ニ　排水通気設備

5. 防災設備で、最も不適切なものはどれか。
   イ　ゴンドラ設備
   ロ　消火設備
   ハ　避難設備
   ニ　警報設備

6. 次の中で、天然石材でないものはどれか。
   イ　御影石
   ロ　レジンテラゾ
   ハ　ビアンコカラーラ
   ニ　トラバーチン

7. カーペットの製造方法による分類で、パイルのないものは次のうちどれか。
   イ　ウィルトンカーペット
   ロ　タフデットカーペット
   ハ　ニードルパンチカーペット
   ニ　コードカーペット

8. ステンレススチールの表面仕上げ法の記述の中で、最も不適切なものはどれか。

イ　エッチング仕上げ

ロ　ヘアライン仕上げ

ハ　バイブレーション仕上げ

ニ　バーナー仕上げ

9. 窓用として使用されるガラス説明の記述で、最も不適切なものはどれか。

イ　普通板ガラス　－　一般に用いられる透明板ガラス

ロ　すり板ガラス　－　砂ずりによってつや消しにした不透明ガラス

ハ　網入りガラス　－　金網や鉄線を入れてあり、丈夫にしたもの

ニ　型板ガラス　－　フロート工法によって製造し、表面が平滑なガラス

10. pH値と酸性・アルカリ性の組み合わせの中で、最も適切なものはどれか。

イ　pH7　－　中性

ロ　pH0～pH3　－　アルカリ性

ハ　pH8～pH11　－　弱酸性

ニ　pH3～pH6　－　弱アルカリ性

11. 床用パッドの種類と用途の組み合わせで、最も不適切なものはどれか。

| 〈パッドの色〉 | → | 〈用途〉 |
|---|---|---|
| イ　赤 | → | みがき作業 |
| ロ　緑 | → | 一般洗浄作業 |
| ハ　黒 | → | 表面洗浄作業 |
| ニ　白 | → | 光沢復元作業 |

12. ポリッシャーの取り扱いについて、最も不適切なものはどれか。

イ　プラグを差し込む前に、スイッチが切ってあることを確認する

ロ　機械の電圧がコンセントと一致していることを確認する

ハ　濡れた手で取り扱わない

ニ　延長コードはできるだけ長めのものを準備する

13. 真空掃除機の漏電の原因について、最も適切なものはどれか。

イ　コードの断線

ロ　モーターの絶縁不良

ハ　フィルターの目詰まり

ニ　ヒューズが切れている

14. 自動床洗浄機の機能の説明で、最も不適切なものはどれか。

イ　洗浄液を床にまく

ロ　ブラシで床面を洗浄する

ハ　汚水を集めて除去する

ニ　前後左右に移動しやすい

15. 建築物清掃用器具の機能の説明で、最も不適切なものはどれか。

イ　計量カップ　　：　洗剤や床維持剤の計量に用いる

ロ　モップリンガー　：　モップを絞る道具

ハ　パテナイフ　　：　ほこりを吸着させて取り除くために使う

ニ　プランジャー　　：　排水管が詰まったときに用いる

16. 汚れの原因の一つである自然的原因について述べた文章のうち、最も不適切なものはどれか。

イ　衛生害虫やカビなどの発生による汚れ

ロ　降雨により水の中に混在している異物が付着し、雨水の乾燥とともに固着する汚れ。

ハ　衣服などの摩耗粉や繊維くず

ニ　粉じん・炭素粒子による汚れ

17. ビニル系床材の日常清掃として、最も不適切な作業は次のうちどれか。

イ　バフ掛け作業

ロ　除塵作業

ハ　剥離洗浄作業

ニ　拭き取り作業

18. 繊維系床材の定期的なクリーニング技法で、最も適切な技法はどれか。

イ　ダストコントロール方式

ロ　スプレークリーニング方式

ハ　スプレーバフ方式

ニ　エクストラクション方式

19. エスカレータの構造の名称で、最も適切なものはどれか。

イ　ノンスリップ

ロ　スカートガード

ハ　け込み

ニ　ササラ巾木

20. 定期清掃の作業項目について、最も不適切なものは次のうちどれか。

イ　床維持材の塗布

ロ　壁面・柱の上部の清掃

ハ　出入口マットの除じん

ニ　フロアマットの洗浄

21. ハインリッヒの法則について、最も適切なものはどれか。

イ　休業災害 1　：　不休災害 99　：　無災害事故 900

ロ　休業災害 1　：　不休災害 49　：　無災害事故 499

ハ　休業災害 1　：　不休災害 29　：　無災害事故 300

ニ　休業災害 1　：　不休災害 49　：　無災害事故 449

22. 次の建築物のうち、特定建築物に定められていないのはどれか。

イ　百貨店

ロ　病院

ハ　事務所

ニ　図書館

23. 廃棄物処理法でいう廃棄物でないものはどれか。

イ　ごみ

ロ　燃えがら

ハ　動物の死体

ニ　放射線物質

24. 作業服装のチェックポイントとして、最も不適切なものどれか。

イ　作業服は身体にあった軽快なものを着用する

ロ　破れた作業服をそのまま着用する

ハ　作業に応じて作業帽を正しく着用する

ニ　上衣のそで口やズボンの裾をしぼっておく

25. 災害発生時の処置事項として、最も不適切なものはどれか。

イ　災害に直結した設備・機械などの運転を止める

ロ　警察に通報する

ハ　災害発生現場の保存に努める

ニ　被災者を救出し、応急手当をする